



外国人の若者ら 真国寺で禅学ぶ

「空」について質問も

国主催の国際交流事業で来日しているラオス、タンザニアの若者18人が、富山市八ヶ山の曹洞宗・真国寺で禅について学んだ。ブツダの教えや禅問答について、永田円了住職からプロジェクターの絵や写真を見ながら英語で説明を受け

た。

本堂に集まった若者らは「日本にはコンビニよりもたくさんお寺がある」と聞くと、驚いた表情を見せた。講演後は「空(emptiness mind)にはどうしたらなるのか」「ブツダは神なのか」など質問が相次いだ。

永田住職は「言葉で語れない禅の世界を、英語で説明するのが難しい。でも、質問がたくさん出るのは興味があるという気持ちの表れで、うれしい」と話した。

若者らは、9月23日に来日。3コースに分かれ、富山県のほか、徳島、岐阜両県など訪れている。

(大坪実佳子)